

# 継続は力なり。そこに仲間が集うのです。



みの〜れデベロップスクール

## 坂本 健介 さん

「みの〜れからまちづくりを発信したい」と語る坂本さん。

みの〜れと共に生活するスタイル

# Minole Life

のすすめ

No.66

年の瀬が迫り、何かと忙しく過ごされてしまっている事と、12月21日は冬至。この日に一年の邪気を払って運をたくさん呼び寄せ、無病息災を願うそう。黄色く色づいた柚子を入れた柚子風呂は心も体も温まります。今回はみの〜れデベロップスクールで活躍中の行方市にお住いの坂本健介さん取材する。

## 準備段階のプロセスを大切に

坂本さんは藤代範雄デザイン事務所勤務のグラフィックデザイナー。水戸市にある文化デザイン学院の非常勤講師も務める。みの〜れに関わるようになったきっかけは、知人にみの〜れを紹介された。若者が活動する、みの〜れデベロップスクール（デベロップ）とは開拓という意味。文化ボランティアアスタップリーダーの育成・支援・次世代リーダー養成の目的に活動している。に参加したのがきっかけだ。坂本さんは、まちづくり関係の仕事をしたばかりだったので、すぐに参加を決めた。

固定されました。密接に関わっていると、みんなでイメージの共有がしつかりとできるので、メンバー全員で情報の発信ができます。そうすることによって、目的に賛同してくれる新しい人が参加してくれるようになります。目的がしつかりイメージできてくると、人が集まり、どんどん完成図が見えてくることを学びました」と坂本さんは話す。

共施設のトイレをボランティアで掃除をしている。石岡市役所の職員さんにトイレ掃除が趣味と話す。興味を示し、一緒にトイレ掃除をするようになった。最初は3人くらいで、週に一回のペースで始めたが、通りがかった人たちが「一緒にやってもいいですか?」「いつもご苦労様」と人が集まってきた。掃除をした後はフェイスブックに投稿し、共感した人がたくさん増えていき、遠くはひたちなか市から家族で参加してくれるという。私が心に染み付いたフェイスブックの記事は、「一段と冷え込みますがトイレ掃除タイムが鋼のように心を鍛えてくれるのです」という坂本さんの格言。

今年も眩しすぎるくらい素敵な方々とお話をさせていたと思います。また、来年も素敵な出会いを楽しみにしています。お体に気をつけて良いお年をお迎えください。

(藤田佐知子)

ちがみの〜れで何をやりたいか?何を伝えたいのか?何をやらなければならぬのか?を具体的に考えました。その話し合いを月2回1年間やってみました。それをやることによって今年度の活動が見えてきましたね。僕の視点から見ると登録している人はたくさんいるんですが、毎回きてくれる人が

くようになりました。また、3.11の震災後は地域のゴミ拾い活動を通して、人と人とのつながりの大切さを体感しました」と坂本さん。そして現在は、石岡市の公